

みずほCustomer Desk Report 2019/10/02 号(As of 2019/10/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.07	1.0899	117.77	1.2289	0.6751
SYD-NY High	108.47	1.0943	118.17	1.2340	0.6776
SYD-NY Low	107.63	1.0879	117.68	1.2205	0.6672
NY 5:00 PM	107.76	1.0933	117.77	1.2308	0.6704
NY DOW	26,573.04	▲ 343.79	日本2年債	-0.2900	3.00bp
NASDAQ	7,908.69	▲ 90.65	日本10年債	-0.1500	7.00bp
S&P	2,940.25	▲ 36.49	米国2年債	1.5409	▲ 8.38bp
日経平均	21,885.24	129.40	米国5年債	1.4878	▲ 5.70bp
TOPIX	1,603.00	15.20	米国10年債	1.6344	▲ 3.28bp
シカゴ日経先物	21,700	▲ 195	独10年債	-0.5660	0.90bp
ロンドンFT	7,360.32	▲ 47.89	英10年債	0.4680	▲ 1.50bp
DAX	12,263.83	▲ 164.25	豪10年債	1.0270	6.20bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.90	0.35%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.81	0.25%
NY金	1,489.00	16.10	USDJPY 6M Vol	6.93	0.16%
WTI	53.62	▲ 0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.49	Yen Call Over
CRB指数	174.09	0.15	EURJPY 3M Vol	7.20	0.04%
ドルインデックス	99.13	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	7.33	0.03%

東京	朝方に日銀短観が発表され、市場予想ほどの落ち込みは見られなかったものの、マーケットの反応は限定的となり東京時間のドル円は108.07レベルでオープン、仲値にかけて実需勢のドル買いが強まったことや日経平均株価の堅調推移等を背景にじり高推移となり108.20台まで上昇。目立った新規材料のない中でしばらくは動意に乏しい推移が続いたが、引けにかけて再び上昇し108.27レベルでクローズした。また、豪中銀が利下げに踏み切ったことを受け豪ドルは下落、東京時間対ドルで0.6751レベルでオープンした後、豪中銀が政策金利を0.25ポイント引き下げ今年3回目となる利下げに踏み切ると、発表後は慌しい動きの中で瞬時0.6776まで上昇するも、すぐに下落に転じその後はじり安推移に、0.6703レベルまで下落した後、同水準で海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.27レベルでオープン。米長期金利が上昇する中でドル円は堅調推移で108.47まで上昇するが、午後に米指標を控える中で上値は限定的、108.36レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2278レベルでオープン。ジョンソン首相が近日EUへ離脱協定案の代替案を提案するとのヘッドラインも、詳細が公表されていないこともありポンドは方向感のない展開。ロンドン正午辺りに1.2312まで買われる場面もあったが、英政府筋が「アイルランド国境から離れた場所に税関を置く」との憶測を否定したことをきっかけに1.2260まで急落し1.2267レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリ 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は108.35レベルでNYオープン。朝方は米9月製造業PMI(確報値)の結果が予想範囲内となり、ドル円の値動きは限定的だったが、10時発表の米9月ISM製造業景況指数が予想を下回り、2009年以降の低水準となったことが伝わると、米金利の低下とともにドル売りが強まり、108.00を下抜ける。また100ドル超上昇していたダウ平均がマイナスイターンに転じると、ドル円は下値模索の展開となり、一時107.63を付ける。午後は売りが一巡し、107.70近辺で小動きとなる。107.78まで上昇する場面もあったが、ダウ平均が前日比で一時350ドル超安となる中、上値は重く、結局107.76レベルでクローズ。一方、前日の低調な独9月CPIの結果等を背景に、ユーロ圏経済見通しへの不安が煽る中、海外市場のユーロドルはじりじりと下落し、一時2017年5月以降の水準となる1.0879を付ける。売り一巡後、1.0900を挟んだレンジで振幅し、1.0899レベルでNYオープン。朝方は米金利が上昇を横目に1.0885まで下落するが、米9月ISM製造業景況指数が予想下回ったことからドル売りが先行し、1.0943まで上昇。買い一巡後は、新規の手掛かり材料が乏しい中、1.0930近辺で小動きとなり、結局、1.0933レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:光石・森谷

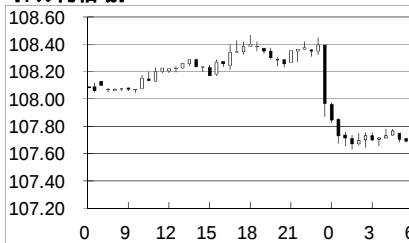
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月1日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	-	0.8%
	16:55	独 マークイット製造業PMI・確報	9月 41.7	41.4
	18:00	欧 コアCPI	9月 1.0%	1.0%
	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	9月 0.9%	1.0%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	9月 51.1	51.0
	23:00	米 ISM製造業景況指数	9月 47.8	50.0
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 0.1%	0.5%
10月2日	01:45	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

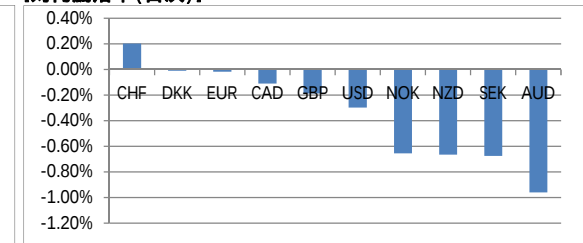
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月2日	21:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 140k	195k
	22:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:50	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.30-108.00	1.0800-1.1000	117.00-118.20

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、9月米ISM製造業景況指数が47.8と前月に続き好不況の節目となる50を下回る内容となると、ドル売りの流れとなり、108台を割り込み107.63まで急落する展開となった。その後も株安、金利低下の流れを受けドル円は上値重く推移し、107.76でのクローズとなった。昨日のISM景況指数の結果は、貿易問題等が米国の製造業のセンチメントに悪影響を与えていることが強く示唆される形となり、今後の米国の経済見通しに懸念を抱かせる内容となった。本日のアジア時間はこの流れを受け、リスクオフムードが強く、ドル円の上値は重い展開となる。